

国立音楽大学同調会 平成26年度 代議員会 会議録

日 時：2014年8月1日（金）午後1時30分より4時まで

会 場：国立音楽大学6号館101室（大講義室）

出席者：52名（議決権者47名、委任状提出5名）

配付物：議事次第、平成25年度活動報告、会計報告及び監査報告書、平成26年度活動計画（案）、平成26年度予算書（案）、同調会規約改正の基本的な考え方と骨子、同調会規約改正案（部分）、同調会規約、代議員会出席者名簿

冒頭、司会の小島由紀子理事会事務室長より、原 武会長の欠席が伝えられ、神原雅之副会長が挨拶に立ち、原武会長から預かった挨拶文を代読した。

続いて、庄野 進 理事長・学長（同調会顧問）よりご挨拶があり、大学の近況などが話された。

その後、規約第7条4項により議長及び副議長が指名された。議長は小谷幸久氏（幹事・鳥取県同調会会長）、副議長は島 頼子氏（幹事・埼玉県同調会会長）。

議長及び副議長の進行で審議・報告が行われた。審議の概要は以下の通り。

【審議事項】

1. 平成25年度 活動及び決算報告

1) 活動報告 <神原雅之 副会長>

①同調会ホームページに、同調会主催のイベント案内や各同調会の演奏会情報を逐次掲載した。

②同調会ニュース通巻91号を「くにたち音信」2014年4月号と合併して発行した。

③第3回 ホームカミングデイを2013年11月2日（土）芸術祭期間に参加160名を得て、実施した。内容は、キャンパスツアー、演奏会（東京同調会『プロムジカくにたち』、小原 孝 Piano & Talk）、立食ティーパーティ、くにたち写真展。

④国立音楽大学との共催事業：ミニコンサート&クリニックを実施した。

栃木県同調会（7/12・13）、福岡県同調会（8/23・24）。この他、大学主催の『進学ガイダンス』に適時協力した。（全11か所）

2) 決算報告 <横瀬和雄 財務管財部部長・代議員>

別添資料参照。

報告の後、会計報告を監査した神宮寺幹事より、収支状況が正しいことが報告された。

以上、平成25年度の活動報告及び会計報告について、拍手で承認された。会場からは、以下の質問と意見があった。

[質問] 代議員会運営分担金の徴収は、平成 25 年度が 45 同調会とあるが、過去にはこの分担金を納めていない会があるということか。未納のままで良しとするのか。

[意見] 過去に、組織化が叶わず未払いの会があった。会計報告では、毎年支払った会の数だけ、発表されている。実際のところ、その会は欠席で交通費が支払われていたというわけではない。未払いについては、確かに不公平感は拭えず共感するものの、本会の趣旨から考えて、昨年来より、該当会が、分担金を納めることが出来てきたことを寧ろ評価したい。

[質問] 繰越金 4500 万円を同調会としての口座で管理しないのか。法人化の検討はどうか。

[回答] 管理に掛かる費用を大学側にお願いしている立場である。例えば、別口座にして僅かな利息がついたとしても、人件費や PC 等の備品代やシステム構築に、かかる費用の方が大きく、大学とは別に法人化するメリットはない。

2. 平成 26 年度 活動計画案及び予算案

1) 活動計画案 <藤沢章彦 幹事代表>

- ①同調会ホームページを継続して更新する。各同調会の HP とリンクをはる。
- ②同調会ニュースは、現行の通り「くにたち音信」の合併号として、通巻 92 号を 4 月に発行する。制作や送付については、大学が費用を負担する。
- ③《ホームカミングデイ 2014》を 2014 年 11 月 1 日（土）に開催する。主催は同調会。大学と協力体制をとり、運営は学内同調会が行う。内容は、「キャンパスツアー」、「くにたち写真展」、大学講堂にてモーツァルトオペラの二重唱を中心とした「コンサート」。大学の教員の方々が多数出演される。このコンサートには、山梨県同調会による合唱団も参加する。5 号館食堂で「ティーパーティも」昨年同様催される。既に 195 名の申込みがあり、4 年目にして、認知が浸透した模様である。
- ④大学と都道府県同調会の共催事業は、8 月 23 日・24 日福岡県同調会、11 月 22 日・23 日愛媛県同調会にて行う。（現時点：2 か所）

2) 予算案 <藤沢章彦 幹事代表>

別添資料参照。ホームカミングデイ 2014 の収入は、大学より 35 万、参加費 30 万の計 65 万円で、支出の合計は 82 万円を予定している。差額の 17 万円は、次年度繰越金から支出することが承認された。

以上、平成 26 年度の活動報告及び会計報告については、拍手で承認された。

会場からは、同調会 Web の更新について要望が出された。

3. 役員の改選

任期 4 年連続 2 期を務められた現会長の原 武氏は、この 8 月で任期満了となり、辞意も固いことから、規約に則り、新会長について、学校法人国立音楽大学と予め協議された。副会長の神原氏より、山

下洋輔氏を推挙する旨が発表され、満場一致で、山下新会長を決定した。拍手の中、山下洋輔新会長が登壇し、就任の挨拶がなされた。

続いて、山下洋輔会長より、以下の役員が推挙された。

副会長：藤沢章彦氏、幹事：神原雅之氏（前副会長）、小谷幸久氏（鳥取）、貝瀬幹雄氏（福島）、長谷川和生氏（長野）、中村 聡氏（東京）、藤森晴子氏（栃木）、青木つくし氏（福岡）。その内、小谷、貝瀬、長谷川の3氏については、課題検討への連続性を鑑み、2期継続が提案され、拍手で了承された。

連続2期を務められた藤沢章彦幹事代表、島 頼子幹事、福井博之幹事、神宮寺淑子幹事に拍手で謝意を表した。

続いて、規約第7条2項2号の代議員には、山下洋輔会長より、以下の正会員が推挙された。

神原雅之氏、駒沢とみ子氏（学内同調会副会長）、岩森美里氏、足本憲治氏。4人の代議員は、国立音楽大学の教員の方々で、同調会と大学の連携の上でも大切な役割となる。

連続2期を務められた山本英助代議員、藤井喬梓代議員にも、拍手で謝意を表した。

以上で、役員の変更が終了したが、山下洋輔会長より、規約 第9条に基づき、原武前会長を顧問に推薦し、引き続き、本会を指導して頂きたい旨の発言があり、審議が求められた。これは全会一致で認められ、原 武前会長は、同調会の顧問となることが決まった。

4. 同調会規約の改正について

幹事会を代表し、藤沢章彦副会長（前幹事代表）より、同調会規約の改正案が示された。まず、今回の規約改正の基本的な考え方が、配付資料に添って、①親睦を深めるだけではなく、大学の教育活動と後輩の活躍を支援しながら、音楽文化の振興を期す有意義な会としたい、②納入金の再開、③役員構成を確認する、④都道府県の同調会は現行のまま、⑤大学から独立した法人化は考えない、とする骨子が示された。それらを確認後、具体的な条項について審議された。（別添資料参照）

内容は、大筋が了承された。これにより、会計に関わる残りの項目を次年度までの検討課題とし、次回の代議員会で提案されることになる。会場からの質問と意見は、以下の通り。

[質問] 監査の範囲と位置付けを知りたい。役員に含まれるのか。

[回答] 明確にして、次回の提案としたい。

[意見] 地域ブロックから選ばれた幹事は、地域の代表としての役割を担う意味もあるのではないか。

[回答] 選出の区分としての地域ブロックであり、その区分での地域活動としてのまとまりや、幹事かその代表ということではない。

以上をもって、代議員会は終了した。

出席者：山下洋輔 新会長、藤沢章彦副会長、庄野 進理事長・学長（顧問）、神原雅之（幹事・代議員）、長谷川和生（幹事）、佐々木 茂（北海道同調会）、木村博子（青森県同調会・代理）、大島恵司（岩手県同調会）、田山伸夫（秋田同調会）、門脇磨美子（宮城県同調会）、鈴木恵子（群馬県同調会）、沼尾守夫（栃木県同調会）、武田 順（茨城県同調会）、島 頼子（埼玉県同調会）、中村 聡（東京同調会）、福井博之（千葉県同調会）、若田部 誠（神奈川同調会）、神宮寺淑子（山梨同調会）、石本陽子（新潟県同調会）、三上秋子（富山同調会・代理）、堺 洋子（石川県同調会）、西村眞一郎（福井県同調会）、近藤明子（長野県同調会）、佐藤充一（静岡県同調会・代理）、橋本真弓（岐阜県同調会）、新藤理圭（愛知同調会）、鈴木就二（三重県同調会）、長谷川香織（兵庫県同調会）、米井里香（大阪同調会・代理）、平松久司（京滋奈良同調会）、小谷幸久（鳥取県同調会）、三木厚子（島根同調会）、小寺繁行（岡山県同調会）、小田孝則（広島県同調会）、中島俊泰（山口県同調会）、香川成子（香川県同調会・代理）、上原佐知子（徳島同調会）、長谷川公彦（愛媛同調会）、青木つくし（福岡県同調会）、吉原敏郎（佐賀県同調会）、馬場幸子（長崎県同調会）、草尾文隆（熊本県同調会）、藤野翔三（大分県同調会）、成松和恵（宮崎同調会）、西澤 明（鹿児島県同調会）、宮里 哲（沖縄県同調会・代理）、山本英助（代議員・学内同調会会長）、駒沢とみ子（代議員・学内同調会副会長）、岩森美里（代議員）、横瀬和雄（代議員・法人事務局）、小島由紀子（代議員・法人事務局）、内海あゆみ（法人事務局）、岩田寛史（事務局専従アルバイト）